4月号

愛知県同胞援護会だより

第393号
令和3年4月1日発行

第2とよた苑「手作りケーキ」

目次

特集……P.2～3
春緑苑……P.3～4
第2春緑苑……P.5
とよた苑・東山デイサービス……P.6
第2とよた苑・保見の里……P.7
若草苑・大府の郷……P.8
春日苑・ワーカー鷹来……P.9
サンホーム豊田・さくら保育園……P.10
支えていただいた方々……P.11
特集……P.12

社会福祉法人 恩賜財団 愛知県同胞援護会

法人本部
〒487-0031　愛知県春日井市廻間町703-1
TEL：0568-88-8302　FAX：0568-88-0306
HPアドレス：https://douen.or.jp
E-mailアドレス：info@douen.or.jp

ひなまつり会

サンホーム豊田

▲おだいり様とおひな様に変身しました♪

第2春緑苑

▲ひな人形と記念撮影　ハイ、チーズ♪

とよた苑

▲すてきなひな人形でしょ？

第2とよた苑

▲ひなまつりレクで、新記録に挑戦中‼

大府の郷

▲立派なひな人形を飾りました

春緑苑

▲美味しそうな？おひな様ですね！

春日苑

▲凛々しいおだいり様になりました

若草苑

▲紙コップが大変身！かわいらしいですね♪

さくら保育園

▲じょうずに描けたよ！

新人職員研修

3月17日㈬から24日㈬にかけて、「令和3年度新卒採用者研修」を実施しました。

昨年に引き続き、感染対策のため、対象を新規学卒採用者のみとし、人数を絞って開催しました。

法人の成り立ちや、運営している事業の概要に加え、社会人として、また対人援助を志す上でも重要となる、「コミュニケーション」について、外部講師をお招きして学びました。

この他、机上研修や実技研修は、実際に現場で業務に就いている先輩職員が講師となり、直接指導を受けました。

一日でも早く一人前になり、仕事ができるよう頑張ります。

▲西村理事長から、期待を込めたメッセージが送られました

▲コミュニケーションの大切さを学びました

▲外部講師の方による講義

▲みなさん真剣に耳を傾けます

春緑苑

西館　リニューアルオープン

この度、西館を全面改修し、4月1日㈭にリニューアルオープンしました。

今回の改修では、感染症対策及びプライバシー確保の観点から、全室個室に生まれ変わり、トイレや洗面設備についても、専用でご利用いただけます。

職員も気持ちを新たに、みなさまをお迎えいたします。

見学も随時受付けておりますので、ご希望の方はお気軽にお問い合わせください。

【問い合せ先】

☎0568-88-5585

担当：小貫（おぬき）・猿子（ましこ）

春緑苑

のど自慢大会

2月8日㈮、「詩吟クラブ」と「カラオケクラブ」の合同「のど自慢大会」を開催しました。

詩吟クラブからは、団体1組と個人2名で、「小諸なる古城のほとり」や「名槍日本号」など、それぞれ練習に励んだ詩を、朗々と吟じました。

カラオケクラブからは、9名の方が順番に、「リンゴの唄」や「北国の春」などを、高らかに歌っておられました。

長らく親しんだ曲には気持ちがこもっていて、聴き手も手拍子でエールを送り、会場内は大変盛り上がりました。

▲みなさん素敵な歌声を披露してくださいました

デイサービス

イースターエッグづくり

レクリエーションの時間に、「イースターエッグ※」に因んで、春を感じるような作品を作っていただきました。

フェルトで切った卵形の台紙に、利用者さんが自分たちで考えながら、「花」や「ビーズ」で飾りました。

できあがった作品を眺めながら、「ここのビーズは上手にできた。」「あなたの素敵だね。」などと、可愛いらしい出来栄えに、自然と笑顔がこぼれていました。

今後も、レクリエーションには季節感を取り入れ、利用者さんの達成感や満足感につなげられるよう工夫してまいります。

※イースターエッグ…キリスト教の行事の一つ、「復活祭」を祝うための、特別に飾り付けられた卵のこと

▲かわいらしい飾りができました

ケアハウス春緑苑

ひな祭りおやつバイキング

3月2日㈫、ケアハウスの食堂にて「ひな祭りおやつバイキング」を行いました。

色とりどりの紙皿に、「チョコレート」3種類、「桜餅」2種類、「おせんべい」、「和菓子」など、たくさんの種類の中から、好きなおやつを選んでいただきました。

飲み物も、「コーヒー」、「紅茶」、「ほうじ茶」、「緑茶」、「ジュース」を用意し、好きな物を注文していただきました。

おかわりも自由で、たくさんのおやつを召し上がってもらいましたが、種類の多さに迷われる方もおられました。

おやつの後の「詩吟の出し物」では、入居者の代表と、施設長にそれぞれ披露していただくと、みなさん、目を閉じながら、詩吟を堪能され、とても和やかな「ひな祭り」になりました。

▲おいしそうでしょ？

グループホーム

おこしものづくり

ひな祭りの前日に、毎年恒例の「おこしもの※」作りを行いました。

まず、「米粉」を耳たぶ程の硬さになるよう、少しずつ熱湯を加えてこねます。

できあがった生地を三等分し、それぞれ赤・黄・緑の色粉を練り込み、小さく丸め、「鯛」や「おひな様」など、様々な形の木型にはめ込んで型取りしたら完成です。

色のバランスを考えながら、みなさん慣れた手つきで、何個も作っておられました。

蒸し上がると、できたてのおこしものと共に、甘酒で乾杯しました。

「丁度いい色と硬さで美味しいね。」と大好評でした。

これからも、懐かしい記憶を引き出す、伝統ある行事を大切にしていきます。

※おこしもの：愛知県で桃の節句に供えられる和菓子の一種。

▲慣れた手つきですね！

居宅介護支援事業所

ずっと夢中でいられること

御年87歳になるAさんは、5歳の頃に見た「ブリキで出来た電気機関車のおもちゃ」に感動したのがきっかけで、鉄道が大好きになりました。

鶴舞駅の近くに住んでいたこともあり、SLもよく見に行かれたそうです。

あこがれの鉄道模型を収集し始めたのは、昭和三十年代に入ってからで、我流でジオラマを制作し、定年後は、更に本格的に作品作りに取り組んでこられました。

足を痛めて中断した時期もありましたが、今でも新しいジオラマの制作に励んでおられます。

既製品もありますが、半分は「爪楊枝」や「ボトルキャップ」、「菓子箱」などを再利用したお手製です。

どれも完成度が高くて驚くばかりです。

▶スケールの大きさに圧倒されます！

第2春緑苑

ひな祭り会

3月3日㈬、「ひな祭り会」を行いました。

例年であれば、ボランティアさんをお招きして、みなさんと一緒に演奏や踊りを鑑賞していましたが、今年度は、新型コロナウイルスの影響もあり、1階のエントランスホールで、7段飾りの「ひな人形」を眺めながら、ケーキに舌鼓を打ち、その後、ひな人形の前で記念撮影を行いました。

利用者さんからは、「あれがおだいり様とおひな様だね。」「7段飾りのおひな様なんてすごいね。」などとお話されていました。

来年はボランティアさんもお招きして、盛大に開催できると良いですね。

▲優雅なひと時を満喫しました

クレープを作りました

2月8日㈪、3階フロアにて、「おやつ作り」の一環で、「クレープ」を作りました。

作り方は、ボウルに「ホットケーキミックス」と「水」を入れ、軽く混ぜます。

▲美味しそうなできあがりですね！

その後、溶いた「卵」とレンジで軽く温めて溶かした「バター」をボウルに入れ、ダマができないようによく混ぜたら、クレープ生地の出来上がりです。

温めたフライパンへ、円形になるようにクレープ生地を流し込み、薄く広げます。

両面焼いたら、「フルーツ」や「生クリーム」をトッピングして完成です。

利用者さんからは、「こんなデザート食べるのは初めて！」「お洒落な形だね。」と大好評でした。

利用者さんと一緒にクレープを作り、楽しいひと時となりました。

デイサービス

いつまでも自分の足で歩きたい

デイサービスセンターでは、「機能訓練」を毎日実施しています。

資格を持った「機能訓練指導員」が、ご本人の状態に合わせた計画を立て、その計画に沿って訓練を行なっています。

「エアロバイク」は、「有酸素運動」と足腰を鍛えるのに期待ができ、ご自分からエアロバイクを漕ぎたいと希望される利用者さんもいらっしゃいます。

「いつまでも自分の足で歩きたい。」との思いで、熱心に取り組まれる方が多いので、安心して利用していただけるよう、感染対策も万全です。

具体的には、使用前後の「手指消毒」を欠かさず行うことや、器具を扱う際のマスク着用に加え、密にならない工夫も行なっています。

今後も、感染対策をしっかりとった上で、安心して機能訓練に取り組んでいただけるよう、努めてまいります。

▲トレーニング、頑張ってます！

歌カルタで遊びました

認知症対応型フロアでは、「歌カルタ」を使ったレクリエーションを行なっています。

昭和の時代に流行った演歌や、歌謡曲の曲名を記入した、職員お手製のカルタを机の上に並べます。

カルタに貼ってある歌を職員が歌い始めると、その歌を注意深く聞き、どこにカルタがあるかを真剣に探します。

「あ、あった！」「違う違う、その隣だわ。」などと、みなさん和やかに楽しまれている様子が印象的でした。

自分が取れる時でも、他の利用者さんの取り札が少ないと、「あそこにあるよ。」と、こっそり場所を教える微笑ましい姿も見られ、みなさんで和気あいあいと楽しんでおられました。

▲この歌はこれかな？

職員リレー随想

海釣り

特養　介護支援専門員　**増田　浩二**

「堤防釣り」を始めて約一年、現在も月に数回、海へ出かけます。

始めたきっかけは、「知多半島で『イワシ』が異常に釣れる。」という情報を知り、興味があったので出かけて、挑戦してみました。

結果、初トライでイワシが大量に釣れたので、自宅に帰って調理し、美味しいご飯にありつけました。

それからどんどんのめり込み、海へ足を運ぶようになりました。

暫くすると、イワシはいなくなってしまいましたが、釣りを辞めることなく、対象魚を増やして楽しんでいます。

いろんな釣り場へ足を運ぶ楽しさ、のんびり海を眺めて開放的な気分に浸れることや釣れた時の興奮など、癒しの時間を過ごしています。

▲この日は「カレイ」が釣れました！

とよた苑

すき焼き鍋

2月18日㈭、「すき焼き鍋」を提供しました。

具材は、「白菜」「春菊」「豆腐」「かまぼこ」「お麸」「ネギ」「きのこ」「しらたき」「牛肉」です。

利用者さんの前で食材を煮込み始めると、良い匂いに誘われて、身を乗り出す利用者さんもおられました。

できあがった鍋を、「おいしいねぇ。」と満面の笑みで召し上がり、シメのうどんも好評でした。

「すき焼きなんて、めったに食べないからうれしい。」と、みなさんに、とても喜んでいただきました。

▲そろそろ食べ頃かな

デイサービス

ひな祭り会

▲素敵なおひな様とおだいり様が仲間入り

▲これはここかな？

♪～あかりをつけましょ　ぼんぼりに　お花をあげましょ　桃の花～♪

2月25日㈭から3月3日㈬までの一週間、「ひな祭り会」を行いました。

「ひな人形棒倒しゲーム」や「おひな様を飾ろうゲーム」など、日替わりで様々なゲームを楽しんでいただき、おひな様がきれいに飾られた時は、みなさん素敵な笑顔でポーズをとっておられました。

おやつには、「桜餅」を召し上がっていただきましたが、桜色の餅を眺めながら、春の訪れをしみじみと感じておられました。

みなさんと一緒に、記憶に残るひとときを過ごすことができました。

♪今日は　たのしい　ひなまつり～♪

ケアハウス豊田

ホワイトデー喫茶

3月12日㈮、「ホワイトデー喫茶」を行いました。

メニューは、女性利用者さんへのバレンタインのお返しとして、「窯焼きピザ」を用意しました。

手作りの石窯の火起こしからスタートし、男性利用者さんたちは気合いを入れて、「手作りトマトソースのピザ」と「イチゴとマシュマロのチョコソースピザ」の2種類を焼きあげました。

▲焼き加減はいかがですか？

一緒に「手作りミカンジュース」も用意し、みなさんに召し上がっていただきました。

おかわりをする方もおられ、「焼き加減」も「味」も大好評。

これとは別に、男性利用者さんからの〝お返し〟も用意されており、渡されている様子を写真に収めました。

みなさん照れながらも、素敵な笑顔を見せてくださいました。

▲気持ちを込めてお返しします！

東山デイサービス

的あてビンゴ

3月3日㈬、レクリエーションで、「的あてビンゴ」を行いました。

「ボール」と「的（ボード）」にマジックテープをつけ、1から9の数字の的をめがけて、ボールを投げます。

みなさん気合十分で、上手に的に当て、見事ビンゴを完成しておられました。

レクリエーションが終わると、「今日も楽しかった。」と、満足された様子で、たくさんの笑顔を見ることができました。

またみなさんに喜んでいただけるような、楽しいレクリエーションを考えていきますね。

▲狙いを定めて･･･

第2とよた苑

施設の中で「伊勢神宮」

2月25日㈭、「三重オンラインツアー　伊勢神宮&おはらい町・おかげ横丁」に参加しました。

新型コロナウイルスの影響で、入居者さんをお連れしての旅行ができないため、少しでも気分転換をしていただこうと企画しました。

テレビ画面越しのツアーでしたが、実際に訪れているような臨場感で、「ここは三重県の伊勢だね、昔に何回か行ったことがあるよ。」「伊勢神宮だ、なつかしいな。」と、思い思いに楽

▲新しい旅のスタイルですね

幸せな味がする

2月27日㈯、4階の松平ユニットで「いちご狩り」を行いました。

取りやすい位置にセットした紐に、洗濯ばさみでいちごを吊るしたら、即席の「いちご狩りスポット」のオープンです。

参加された利用者さんから

▲立派ないちごが獲れました！

は、「自分でいちごを取って食べられるのは、おもしろいね。」「本当のいちご狩りみたいだよ。屋内で寒くないからいいね。」などと好評で、大変盛り上がりました。

ある利用者さんは、一ついちごを取って頬張ると、「立派ないちごが採れたよ。甘くてとてもおいしいいちご。私はいちごが大好きなの。幸せな味がする。」と、大好きないちごを堪能しておられました。

▲お味はいかがですか？

▲旅気分を味わいました♪

しんでおられました。

ツアーを堪能したところで、この日のおやつは、伊勢名物の「赤福餅」を用意しました。

一口召し上がると、幸せな表情をされ、お腹も心も「お伊勢さん」を満喫していただきました。

居宅介護支援事業所

「認知症」と「手すり」

認知症で、一人暮らしの「Sさん」のお話です。

Sさんは、年明け早々転倒により、膝を骨折し、1か月近く入院されました。

退院後は、ご本人やご家族から、再び転ばないようにしたいとの意向を受け、「手すり」の設置をご提案しました。

いざ、手すりを設置すると、ご本人が険しい表情になって、「こんなものは要らんよ。」とおっしゃったので、手すりは使っていただけないのかなと思われました。

ところが、翌日娘さんから改めてSさんに説明すると、「婿さんが付けてくれたのね。」と言って、機嫌良く手すりを使ってくださったそうです。

認知症の方の場合、変化を受け入れることが難しいため、手すり1本を取付ける際にも、丁寧な説明が必要です。

また、同じ内容でも、説明する人やタイミングによって、受け取り方が変わる場合もあります。

Sさんのケースでは、娘さんの説明がきっかけとなり、現在も「手すり」を使いながら、元気に在宅での生活を送られています。

新任職員紹介（3月1日付）

●居宅

介護支援専門員
伊藤　晴美

保見の里

雪遊び

2月18日㈭、豊田市にも「雪」が積もりました。

「外に雪を見に行きましょう。」と、Mさんをお誘いしましたが、「私は寒いのが苦手だから、部屋から見ているわ。木に積もった雪もきれいよ。」とおっしゃられ、雪景色を見て楽しんでおられました。

他の利用者さんにも声をお掛けすると、「せっかくだから触りたいね。」とわくわくした様子で外に出られ、小さな雪だるまを作ったり、投げあったりと、楽しそうに過ごしておられました。

途中、ひらひらと雪が舞ってきましたが、「やっぱり外に出ると寒いけど、気持ちのいい寒さだね。」と、寒いながらも雪の日を楽しむことができました。

▲かわいらしい雪だるまがお出迎え♪

養護若草苑

はつらつ体操

若草苑では、月に2回、「はつらつ体操」を行なっています。体を使った「ストレッチ」や「体操」だけでなく、認知症予防のため、「手遊び」など複数の動作を行いながら、「脳トレ」も行なっています。

この日行なった脳トレは、「色読み」です。

「赤」や「青」など様々な色の漢字を、様々な色で書かれた表を見て、読み上げていきます。文字と色の違いに悪戦苦闘しながらも、楽しく認知症予防に取り組みました。

はつらつ体操が終わると、体はポカポカ、頭はスッキリして、みなさんご満悦の表情をされていました。

▲色と文字が混乱しますね

若草苑デイサービス

桜が満開ですよ

▲桜と笑顔が咲き誇りました

2月下旬から、みなさんと一緒に「桜の花」を作って、フロアを満開にしました。

「昔はよく花見に行ったわ。」「やっぱり花より団子だね。」などと、楽しく吊るし飾りのパーツを作りました。

利用者さんの中には「あの部分がまだ寂しいから、もっと花をつけたい。」と熱が入り、どんどん華やかになっていきました。

最後は、桜の木の前で記念撮影です。

桜に負けないくらい、満開の笑顔がいっぱい撮れました。

大府の郷

盆栽を育てて

今年1月に入所されたご利用者の「Aさん」は、いつもリビングの窓際で「日向ぼっこ」をされています。

ある日、いつものように外を眺めていたAさんに声をおかけすると、「土いじりがしたい。ここは高いところで土が見えない。」とおっしゃられました。

これをきっかけに、ご家族にお願いして、Aさんがお好きな「盆栽」を持って来ていただくことになりました。

盆栽を見た途端、「なんと、どうしたの。わーうれしい。」と、盆栽を抱え込まれました。

「これから、ここで育ててくださいね。」とお願いすると、「そうか、ありがとう。」と涙を浮かべながら、霧吹きで盆栽に水をかけておられました。

現在も、生き生きした盆栽の葉を眺めながら、「まだまだこれから大きくなるぞ。」と大切に育てておられます。

▲大切に育てていきましょうね

デイサービス

感謝の気持ちを込めて

3月14日㈰は「ホワイトデー」でした。

ホワイトデーは日本独自とも言われており、諸説ありますが、一説には昭和後期以降に老舗菓子店が、「バレンタインデー」のお返し用に、白い「マシュマロ」を売り出したことが起源とも言われています。

バレンタインの際には、毎年定番の「チョコレート」や「洋菓子のバイキング」に加え、今年は少し趣向を変えてデリバリーの「ピザ」もご用意したところ、大変好評でした。そこで、ホワイトデーにもひと工夫。

大府市内でも有名な老舗和菓子屋の「お饅頭」をご用意しました。

利用者さんからは、「こんな素敵なおやつなら、毎月やってほしい。」、「普段なかなか食べられないものが食べれたよ。」等のお言葉をいただきました。

中には、「体重計にはしばらく乗れないわよね。」と、冗談をおっしゃる方もおられ、たくさんの笑顔溢れるイベントとなりました。

▲楽しいひとときとなりました

▲美味しそうな和菓子ですね

春日苑

利用者懇談会

2月17日㈬、感染対策のため、3か所に分かれて「利用者懇談会」を行いました。

議題は、「今年度を振り返って」と「来年度の希望」です。

今年度に関しては、「やっぱりコロナで外出できなかったのが残念だよね。」など、悲しい思い出もありましたが、「春日苑でやった花火やデリバリー、忘年会は楽しかった。」「うんうん。花火は良かったね。」という明るい声もあがり、職員もホッとひと安心しました。

次に来年度への希望を伺うと、普段から思っていたことが溢れるように、次々とお話ししてくださいました。

一番多かった意見は、外出に関することで、「プラネタリウムに行きたい。」「美味しいものを食べに行きたい。」「ジブリパークに行きたい。」など、たくさんでました。

来年度は、外出することができて、職員も一緒に楽しい時間を過ごせるよう願っています。

保育実習

2月3日㈬から2月17日㈬の15日間、「保育実習」で「愛知江南短期大学」の学生2名を受け入れました。

コロナ禍ではありますが、互いに徹底した感染対策をして、実習を進めました。

▲一緒に楽しい時間を過ごしました

▲活発な意見交換ができました

障がい者生活支援センターだより

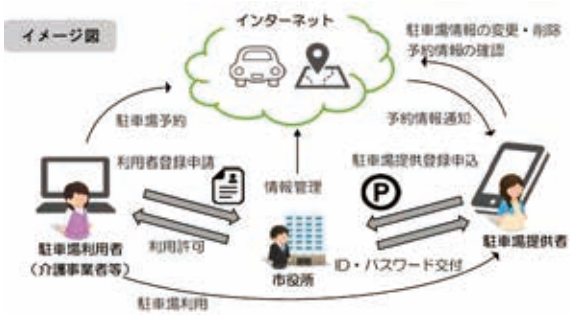
ハートフルパーキング

春日井市が実施する「ハートフルパーキング」は、医療・介護事業者等が、駐車スペースのないお宅に訪問する際に、近隣の住宅や店舗などの空駐車場を、一時的に借用させていただく取り組みです。

仕組みについては、「駐車場提供者」と「駐車場利用者」が、予め予約システムに登録し、マッチングを行います。

この事業は地域の支え合いによって成り立っているため、無償で駐車場を提供してくださる方を随時募集しております。

詳細につきましては、「春日井市役所ホームページ」や「春日井市地域福祉課」までお問合せください。



【お問合せ】
春日苑障がい者生活支援センター
（0568）88－7637
E-mail：kasugasien@douen.or.jp
担当：水野・本多・長尾・池戸

新任職員紹介（3月1日付）

●春日苑
機能訓練指導員
山下　明里

ワーカー鷹来（たかぎ）

新しい手芸品

昨年度から、市役所や市民病院でのパン販売の際に、利用者さんと一緒に作成した「マスク」や「ペットボトルホルダー」等の「編み物」を販売しています。

これに加えて、今後はプラスチックの板に色を塗って加工したものを、「ヘアゴム」や「ヘアピン」などの「アクセサリー」として販売していく予定です。

これまでに利用者さんが作った手芸品もそうですが、誰かの手に取って見てもらえるのは、とても励みになります。

今回作成するアクセサリーも、作業以外の得意分野を活かすことができ、より多くの利用者さんが活躍できます。

これからも、様々な形で活躍の場を広げていきます。

▲どんな作品に仕上がるか楽しみですね！

サンホーム豊田

楽しい時間

サンホーム豊田に、機能訓練指導員として、「伊藤祐太郎」さんが入職しました。

気さくに利用者さんと接することから人気が高く、「伊藤さんと運動したい！」と引っ張りだこです。

この日は歩行器を使用するようになった利用者さんのリハビリを行いました。

ただ単に歩くのではなく、小さい障害物を置いて、意識的に足を上げるように工夫して、歩行練習をします。

「焦っちゃう。」という利用者さんに、「焦らなくて大丈夫。ゆっくり、ゆっくり。」と声を掛け、終始和やかな雰囲気で行いました。

伊藤さんと過ごす時間は、多くの利用者さんにとって笑顔溢れる時間となっています。

ここで、伊藤さんより、ご挨拶代わりに、手軽にできる「ストレッチ」をご紹介。

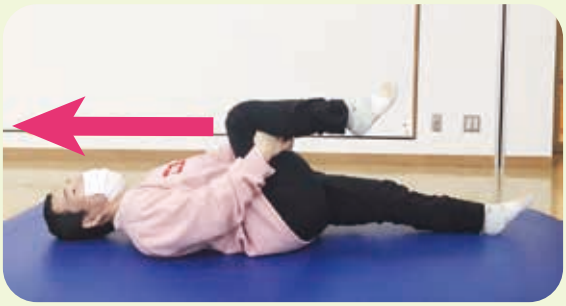
膝周辺の筋肉を伸ばすストレッチ

①仰向けになり、片方の太ももの裏を両手で抱えます。

②痛みがない程度に胸の方に引き寄せ5秒間止めます。

③5～10回繰り返し行い、反対も同じように行います。

※痛みのない範囲で、ゆっくり行いましょう



▲運動前のストレッチを忘れずに！

生活介護事業

春を待つ詩

レクリエーションの一環で、みなさんと一緒に「俳句」を書にしたためて、春への想いを馳せました。

「春雨の音がしてくる楽しさよ」、「山路来て何やらゆかしすみれ草」、「雪解けの音聞いて居る朝寝哉」、「薄赤き顔並びけり桃の酒」の4つから、お好きな句を選んでいただきましたが、「私はすみれ草が好きだからこれにしょう。」、「雪解けの音ってどんな音かな？」などと、どれも素敵な句で迷っていらっしゃいました。

座って心を落ち着け、筆に墨を含ませたら、静かに机に向かいます。

一文字ずつゆっくりと書いていき、筆が滑る感触を楽しんでおられました。

最後にサインをして、作品の発表です。

「薄いという字が難しかった。」「解けるって書くのが大変だった。」などの感想とともに、句を選んだ理由については、「お酒が好きだから。」「山路というのがいい感じだから。」と、それぞれ気に入った理由を話されていました。

▲出来栄えはいかがですか？

新任職員紹介（3月1日付）

●サンホーム豊田
機能訓練指導員
伊藤　祐太郎

さくら保育園

世界旅行♪

2月10日㈬から15日㈪の6日間、「作品展」を開催しました。

コロナ禍で気軽に旅行へ出掛けられないため、「世界旅行」をテーマに、各クラスが話し合い、各国の名物を制作で表現しました。

園児たちは、顔写真付きの「パスポート」を持ち、入口でスタンプを押して各国をめぐります。

「日本」をはじめ、「アメリカ」、「イタリア」、「フランス」など、みんながよく知る国が並ぶ中、「マダガスカルって？」と、初めて知る国もあり、園児たちは興味津々でした。

各国の有名な「食べ物」や「建物」、「生き物」を見て、「どんな味がするのかなぁ～。」「本物はどのくらいの大きさかな？」と、想像を膨らませながら世界旅行を楽しんでいました。

作品展を通して、世界の国々を知ることができ、作って表現する楽しさも経験できました。

▶コアラと一緒にハイ、チーズ！

■支えていただいた方々

2月16日～3月15日（敬称略、順不同）

春緑苑

寄付金

【特養】立岡紀子、川副幸子、武内喜代子、塚田美智子

寄付物品

【特養】牛場厚子、岩田透、中山啓子、高橋清子、高井正子、東秋枝、アカチャン食品、中島裕子、松下あや、宮本しめ子、東洋羽毛、加藤久子、中北薬品、柚原千枝、石垣隆由、久家保則、加藤高子、柴田ふじ子、山村よし、【デイサービス】西尾和子、岡村弘子、打田こう、東つき子、【グループホーム】加藤三輪子、小川理恵、【ケアハウス】見尾谷義雄、【ケアマネ】青木京子、池田耕造、山田辰夫、村上信侍・美穂江、高石秀子、樫村靖子、【用具】野澤峰夫、松浦宣尚

ボランティア

武内喜代子、塚田美智子

春日苑

寄付金

飯島一祥

寄付物品

高木民江、中北製薬、飯島一祥、橋本日出

第2春緑苑

寄付物品

【特養】野村忠雄、渡部萬里子、鬼頭健一、安藤邦男、足立恵美子、青名畑キミ子

ワーカー鷹来

寄付物品

杉下友美（保護者）

ボランティア

立山哲男、風間公一、安藤八恵美、小平武、小平嘉津子

さくら保育園

寄付物品

鈴木亜希子、田中征子

とよた苑

寄付物品

【特養】鷹見しづ、高木昌子、小澤富貴子、高羽千恵子、前田静江、岡勉、紫田百代、【デイサービス】大岡秀野、河野出、塚本正、竹田百合子、里本初代、【ケアハウス】橋本孝子、岩月信、生島篤子、白山マリ子、横山幸子、右山高義（御家族）、津田幸江、遠藤カヅヨ、浦山マサコ、下山邦子（御家族）、鈴木民子、日高孝子

東山デイサービスセンター

寄付物品

加藤美佐子、矢頭啓子、佐藤交、深田紀美代、斎藤エイ子、高橋幸也、兼子一江

第2とよた苑

寄付物品

【特養】梅村すずゑ、溝口みよ子、小川金次、杉浦やす子、百武榮子、飯田房男、【デイサービス】南澄子、柴田敏夫、島袋牧子、愛甲サダ子、渡邊節子、磯村千枝

保見の里

寄付物品

【特養】宮川ますゑ、永田香代子、山本美貴夫、西川信子、宇野よし子、魚澄なつ子、宇佐美桂太郎、中川わかな、福岡ちか江、【ケアマネ】柴田文子、須藤アメリア、【包括】村瀬公子、篠原サロン

ボランティア

【特養】斉場昌子、藤井玲子、石川貴代美、毛受秀子、中條厚子、中條ひとみ、荒川さつき、増田純江

若草苑

寄付物品

【養護】土井義康、中川保険、【デイサービス】宇佐美アヤ子、山本玉江、加藤セキ

サンホーム豊田

寄付物品

【施設】高木禎宜、工藤智史、【通所】池田知亜紀、樹神正紀

大府の郷

寄付金

桝田宇人

寄付物品

磯部隆治、永井道子、高井テル子、鈴木マスエ、森永民子、河野ミツ、大場輝夫、酒井敦子、たんぽぽ薬局、鈴木眞二、加藤幸枝、内藤享、キリックスリース株式会社

「採用サイト」のご案内

ぜひご覧ください

愛知県同胞援護会では、一緒に働く職員さんを募集中です。
より多くの方に、当法人での「働く」を知ってもらうために、
採用専用のウェブサイトを開設しました。法人の働きやすさへの
取り組みや、先輩職員のリアルなコメントも掲載中です。

看護の知恵袋 Vol.19

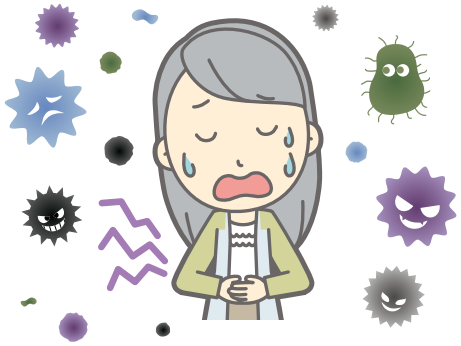
「食中毒」に注意

サンホーム豊田　看護職員　大津　明美

日中は汗ばむほどの陽気にもなり、衣替えの時期になりつつありますね。

気温が高くなるにつれて、食中毒の件数も増えていきます。食中毒の原因菌によっては、一年を通して発生します。

今回は、食中毒の原因と予防について説明します。



食中毒とは？

食中毒を起こす元となる、「細菌」や「ウィルス」などの有毒な物質がついた食べ物を食べることで、下痢・腹痛・おう吐・発熱といった症状が出る病気のことです。

同じものを食べても、全員が食中毒を起こすわけではありません。健康な人は、胃酸によって食中毒菌を殺菌したり、良い腸内環境を保っている場合は、発症の可能性が低くなります。

しかし、高齢者や免疫力の弱い方は、時には命に係わることもあるので注意が必要です。

食中毒の原因

○細菌（6月から8月に注意）

・**腸管出血性大腸菌**（O157など）

・**カンピロバクター**（菌が付着した加熱不十分な肉、生肉、ペットを介する）

・**サルモネラ菌**（菌が付着した食肉、卵）

・**セレウス菌**（土がつきやすい穀類や豆類、香辛料）

・**黄色ブドウ球菌**（調理する人の手や指に傷があったり、化膿した傷口やニキビを触わった手で調理）

・**ウェルシュ菌**（カレーや煮込み料理）

・**E型肝炎ウィルス**（加熱不足の豚肉やレバー）

○ウィルス（11月から3月に注意）

・**ノロウィルス**（ノロウィルスに汚染された二枚貝、井戸水、二次感染）

○その他（通年）

・**自然毒**（毒キノコ、フグ）

・**寄生虫**（アニサキス）

予防の原則

食中毒を起こす細菌やウィルスが食品に付いてしまったかどうかは、見ただけでは分かりませんし、味やにおいも分かりません。食中毒を防ぐための決まりがあります。

○細菌

・**「つけない」**
洗う！分ける！

・**「増やさない」**
低温で保存する

・**「やっつける」**
加熱処理（75℃で1分以上）

○ウィルス

・**「持ち込まない」**
健康状態の把握・管理！

・**「広げない」**
手洗い、定期的な消毒・清掃！

正しい手の洗い方

手に付着した細菌やウィルスは、指の間や爪の中まで石鹸を使って正しい方法で洗いましょう。

食中毒かな？と思ったら

おう吐や下痢の症状は、原因物質を排除しようという体の防御反応です。市販の下痢止めなどの薬をむやみに服用しないで、早めに受診しましょう。

おわりに

食中毒は衛生管理が第一ですが、普段からの「体調管理」も重要です。栄養バランスの良い食事と、睡眠時間の確保、適度な運動をして、ストレスを溜めない生活を心掛けましょう。

体力を維持して、菌やウィルスから体を守るためには、規則正しい生活習慣が基本です。

できることから始めてみませんか。

編集後記

4月は新たな出会いの季節ですね。

我が家では、昔から「家庭菜園」を行なっていますが、今年育てていた「白菜」に珍しいことが起きました。

通常、白菜は種を蒔いて葉ができてきた頃に、紐を巻いて形を整えていくのですが、その中に紐を巻き忘れたものがありました。

すると、葉が拡がって、「青梗菜（チンゲンサイ）」のような、「もち菜」のような、不思議な白菜（？）に成長。

調べてみると、白菜の種が「自然交配」してこうなったようです。

4月を前に、一足早く庭先で〝新たな〟出会いを経験したお話でした。

この広報紙に掲載した個人情報は、ご本人もしくはご家族の同意を得て掲載しています。

職員募集

応募される前に、一度施設見学をしてみませんか。
まずは、お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先　0568-88-8302
人事課（有我（ありが）・佐野）

採用サイトもございます。
ぜひご覧ください。
https://recruit.douen.or.jp